

【開講日】平成30年10月24日(水)

あき 三鷹サテライト教室

文学

三鷹

302021

古典を楽しむ

『源氏物語』巻七「紅葉賀」巻八「花宴」を読む

受講料 (振込額)	15,000円		
必携テキスト	『新潮日本古典集成〈新装版〉源氏物語(二)』 新潮社 2,484円(税込)		
講座概要	曜日	水曜日	
	時間	13:00～14:30	
	回数	全10回	定員 50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室	
講師	元本学教授 深澤 邦弘 (ふかさわ くにひろ)		
	早稲田大学大学院文学研究科日本文学専攻修士課程修了、文学修士。 都立三鷹高等学校、立川高等学校、昭和高等学校教諭2006年3月武蔵野大学文学部教授退職。 専攻は中世文学・国語教育。著書に『平家物語における「生」』新典社研究叢書170、 『青桐—もの一詞いはん—』編著新典社(2014年4月)など。		
内容	<p>仮説、その頃、京の人々が「もののはれを知る」女性として話題にしていた女性たちの中の二人—老女源内侍と入内近き大臣の女—、語り手(作者)は19才の源氏と頭の中将をこの二人に引きあわせ奔放な青春彷徨の物語二篇「紅葉賀」「花宴」を語る(書く)。 「紅葉賀」、10月、朱雀院行幸の試楽に青海波を頭の中将と舞う源氏の舞い姿に藤壺の心はゆれる。二条院で美しく成長したという姫君に葵の上は不快感をつのらせる。翌年藤壺は出産の時を訝る目にさらされながら男御子を出産、4月、若宮参内、帝の喜びにわが「心の鬼」を呼び起こされ慙愧と不安の日々を過ごす。帝に近侍する古参の源内侍に源氏は冗談口で誘う。日頃われも皇女腹と自負し、対抗意識を懐く頭の中将は二人が逢う場に乗り込み太刀を抜く。七月藤壺立后、源氏昇進、帝譲位後の東宮は若宮にとの意向、若宮はますます源氏に酷似、それを辛しと思う藤壺の心情に気づく人はいない。 「花宴」、二月、南殿の花の宴、その夕の源氏の舞も詩も称えられ晴れの場で一座の光と称えられる源氏への帝の信頼は厚い。夜更け、藤壺と尋ねるも会えず忍び入った弘徽殿の細殿で「朧月夜…」を誦しつつ歩み来る女性の袖を捉え扇を交換して別れた。素性を探らせるも弘徽殿の女御一族の女性らしい。三月、右大臣家の「藤の宴」に招待された源氏は酔いにこと寄せ花めづる姫君に近づき先夜の女性を探す。</p>		
	①10月24日：紅葉賀	⑥1月9日：紅葉賀	⑦1月23日：紅葉賀
②11月7日：紅葉賀 DVD「青海波」を聴く	⑧2月6日：花宴	⑨2月20日：花宴	
③11月21日：紅葉賀	⑩3月6日：花宴		
④12月5日：紅葉賀			
⑤12月19日：紅葉賀			

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the Worldお問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211開室日：月～金曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学

Musashino University

武蔵野大学 三鷹サテライト教室 平成28年3月より南口に移転



JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7 F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 教室は講座の15分前よりお入りいただけます。
(前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります)
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。